

## 2022 年度日本海洋学会第 1 回幹事会議事録

日時:2022 年 5 月 12 日(木)13:30~17:00

場所:Zoom を利用したオンライン開催

出席者:神田会長、伊藤副会長、岩本、梅澤、江淵、岡、乙坂、帰山、川合、高橋、土井、中野、西部、野口、三角、吉田、事務局(毎日学術フォーラム:平坂)

### 議題

#### 1. 議事録確認(三角幹事)

2021 年度第 6 回幹事会の議事録が確認され、承認された。

#### 2. 審議事項

##### (1) 入退会について(乙坂幹事)

2022 年 2 月から 3 月の入会者(10 名)と退会者(67 名)が承認された。2022 年 3 月末時点の会員数は、1381 名。

入会者の会員種別について指摘があり、再度確認することになった。

##### (2) シンポジウムの後援・協賛等について(乙坂幹事)

後援・協賛等について 7 件の依頼があり、承認された。

##### (3) 募集・推薦等の依頼(乙坂幹事)

公募・推薦 5 件、転載許諾 1 件、その他 9 件の依頼があり、学会ホームページにて公開、メーリングリストにて配信等の対応がなされたことが報告された。

##### (4) 会費 3 年未納者について(乙坂幹事)

会費 3 年未納者のリストを確認し、声かけを行うことになった。

##### (5) 若手海外渡航援助について(伊藤副会長)

若手海外渡航援助について 1 件の申請が提案され、承認された。

##### (6) web 選挙導入スケジュールについて(中野幹事)

web 選挙導入スケジュールが提案され、承認された。

##### (7) 日本海洋学会吉田賞新設について(神田会長)

吉田賞の新設に関する趣意書および会則・細則の改定案が提案され、承認された。

##### (8) 2021 年度事業報告について(乙坂幹事)

2021 年度事業報告について提案され、承認された。

##### (9) 2022 年度事業計画について(乙坂幹事)

2022 年度事業計画について提案され、承認された。

(10) 2021 年度決算および 2022 年度予算について(西部幹事)

2021 年度決算および 2022 年度予算について提案され、承認された。

(11) 2022 年度春季評議員会および総会議事次第について(乙坂幹事)

2022 年度春季評議員会および総会議事次第について提案され、承認された。

(12) ISSN(国際標準逐次刊行物番号)の取得について(岩本編集委員長)

JOS ニュースレターについて ISSN を取得することについて提案され、承認された。

(13) 2022 年度秋季大会におけるシンポジウム等について(土井幹事)

2022 年度秋季大会におけるシンポジウム等について提案され、承認された。

(14) 海洋環境の事典の編集委員会について(伊藤副会長)

海洋環境の事典の編集委員について提案され、承認された。

(15) JpGU 教育検討委員会への海洋学会としての対応について(川合幹事)

JpGU 教育検討委員会への海洋学会としての対応について、海洋学会として個人(教育問題研究会員)を推薦し、教育問題研究会を通じて報告を行ってもらう形で対応することが提案され、承認された。

### 3. 報告事項

(1) 会長(神田会長)

三賞の選考委員会が 4 月 28 日に開催され、委員長が互選で選出され、二名の追加委嘱の依頼があったことが報告された。5 月 13 日に環境科学賞の選考委員会、5 月 16 日に論文賞の選考委員会が開催される予定であることが報告された。

3 月 19 日に海洋生物シンポジウムがオンラインで開催されたことが報告された。

4 月 11 日に Parsons 名誉会員が逝去されたことが報告され、哀悼の意が示された。

学会の法人化に関連し、沿岸海洋研究会の扱いについて、沿岸海洋研究会の多田会長、森本事務局長と協議したことが報告された。

春の評議員会で学会の法人化の大枠を提示し、その後具体的な作業に入ることが述べられた。

(2) 庶務(乙坂幹事)

名誉会員の推薦、および受賞記念の座長について報告された。

(3) 会計(西部幹事)

法人化に向けた会計に関する手続きについて報告され、協議した。

(4) 研究発表(土井幹事)

2022 年度春季大会が JpGU2022 で開催されることが報告された。

2022 年度秋季大会の準備状況について報告された。本大会では、マイページを利用した大会申込みが導入されることが報告された。大会がハイブリッド形式で行われるか、完全オンライン形式で行われるかで参加費が変わるが、それに対応するためのシステムの改修について準備していることが報告された。

2023 年度秋季大会の実施予定について報告された。

(5) 編集

① JO(江淵編集委員長)

JO(Vo. 76(1)から Vol. 78(3))の発行状況、投稿・受理状況について報告された。

特集セクションの発行状況、発行見通しについて報告された。

4 月 1 日から著作権の扱いを LTP(License to Publish)へ移行したことが報告された。

Springer で行っているプレプリント公開サービス(In Review)については導入を見送ることとなったことが報告された。

② 海の研究(吉田編集委員長)

海の研究第 31 巻 2 号が 2022 年 3 月 14 日に発行されたことが報告された。第 31 巻 3 号は 2022 年 5 月 15 日に発行予定であることが報告された。

③ ニュースレター(岩本編集委員長)

JOS ニュースレター(第 12 巻 1 号)は 2022 年 6 月 1 日に発行予定であることが報告された。

2022 年度から広告契約が 2 件打ち切りになったことが報告された。

(6) 広報委員会(帰山幹事)

JpGU2022 では、現地ブースとオンライン展示(Confit)を予定していることが報告された。また、JpGU が主催するクイズラリーに参加する予定であることが報告された。

2022 年度秋季大会では、大会開催についてプレスリリースを行い、教育問題研究会と共催で海の出前授業の情報交換会を開催する予定であることが報告された。

(7) 海洋観測ガイドライン編集委員会(乙坂幹事)

第 1 回編集委員会をメールにて開催したことが報告された。

2022 年度は和文第 5 版を発行予定であることが報告された。

(8) 海洋環境委員会(梅澤幹事)

2021年度に終了した青い海助成事業の3課題について、支出内容と実施内容が報告された。

(9) 海洋環境問題研究会(梅澤幹事)

5月11日に総会を開催し、秋季大会のシンポジウムで風力発電に関する申請を行っていることが報告された。また、今後のシンポジウムの実施内容等について協議したことが報告された。

(10) 教育問題研究会(川合幹事)

3月20日にサイエンスカフェを開催し、JAMSTECの中嶋会員がマイクロプラスチックについて講演を行ったことが報告された。参加者は24名で一般の方も16名の参加があったことが報告された。

9月3日にサイエンスカフェをオンラインで開催する予定で、JAMSTECの森岡会員に情報提供してもらう予定であることが報告された。

5月31日に海洋教育学会の第5回設立準備会合がオンラインで開催される予定で、学会規約の作成等を行う予定であることが報告された。

(11) ブレークスルー研究会(岡幹事)

今後の活動について協議していることが報告された。

(12) 海洋生物学研究会(高橋幹事)

海洋生物シンポジウムが3月19日にオンラインで開催されたことが報告された。登録者数は128名で100名程度の参加があり、24件の発表があったことが報告された。また、学生優秀発表賞を2件授与したことが報告された。

シンポジウム後に運営委員会を開催し、海洋生物学研究会の退会についての会則の変更や、会の活性化策について協議したことが報告された。

海洋生物シンポジウムで発表するには、上部組織にあたる海洋学会へ入会する必要がある。学生会員の学会費を下げることで海洋生物シンポジウムで発表を希望する学生の負担を軽減してほしいという要望があることが報告された。

シンポジウムの開催にあたり、事務局の手伝いのためアルバイトの雇用を予定していることが報告された。

(13) 研究に関する将来構想WG(高橋幹事)

一般に向けた将来構想の表出に向けて議論を続けていることが報告された。年内にとりまとめて公表する予定であることが報告された。

(14) 男女共同参画(野口幹事)

3月29日に男女共同参画学協会連絡会の第2回運営委員会がオンライン開催され、伊藤副会長と野口幹事が出席したことが報告された。

女子中高生夏の学校が8月7、8日に開催される予定であり、ポスター展示とキャリア相談会が8月7日の午後に行われることが報告された。

女子学生・若手女性会員を対象とし、キャリア形成やワークライフバランス等について話し合う、「Inclusion 海かふえ」についてメンターの募集を行い15名の登録があったことが報告された。第1回は6月17日にオンラインで開催される予定であることが報告された。

(15) 防災学術連携帯(中野幹事)

防災学術連携帯から依頼のあった「防災科学の基礎講座」のビデオ作成についてメーリングリストで周知したことが報告された。

防災学術連携帯経由で内閣府から2件の公募があり、メーリングリストで周知したことが報告された。

(16) 若手支援(伊藤副会長)

2022年度日本海洋学会若手集会助成に3件の提案があり、すべて採択したことが報告された。

秋季大会の時に若手との懇談会を実施する予定であることが報告された。

(17) リクルート戦略WG(梅澤幹事)

学会ホームページに作成した「海洋・水産系の大学・進路の相談窓口」について2件の問合せがあり、回答を行ったことが報告された。また、Q&Aコーナーが更新されたことが報告された。

以上